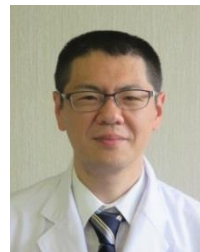


群馬県立精神医療センターだより

No.8 平成28年11月 発行

「なくて七癖」

第二診療部長 盛林 直道



なくて七癖といいますが、私たちは知らず知らずのうちに沢山の癖を身につけています。くよくよしたり、臆病だったり、楽観的だったり、といった考え方の癖もありますし、気持ちが体に出やすい体質的な癖もあります。精神科の患者さんの中には、ストレスがかかると落ち着かなくなる、いらいらする、目があがる、といった症状が出る場合があります。

私もいくつかの癖を持っていて、ストレスがかかると筋肉が緊張して肩がこったり、リラックスするとなぜか片頭痛の発作がでます。せつかくの休日に片頭痛の発作が出ると、痛みのために動けなくなることがあります。片頭痛がなかったら休日を満喫できるのに...と残念な気持ちになることもありました。でも、あるとき、片頭痛持ちの患者さんを診察していて、ふと、気がつきました。私は片頭痛のおかげで休日にゆっくりと体を休めることができるんだ、片頭痛は私が無理をしすぎないように守ってくれる大切な友達なんだ、と。そう思うと、片頭痛がいとおしくさえ思えるようになりました。

患者さんも心の状態によって色々なサインが出現します。当センターでは、これを「注意サイン」と称して患者さんに説明しています。「注意サイン」が出たときに、上手にそれを活用すると楽に生活できるようになります。

皆さんも、体のメッセージに耳を傾けてみると大切なことに気がつくことができるかもしれません。

ヒトっておもしろいですね。

今後とも当センターをよろしく申し上げます。



当センターのホームページにて毎週ブログ「つれづれ便り」を更新しています。是非ご覧下さい。

URL:http://www.gunma-seishin.jp/07_blog/blog_index.html

基本理念

1. 患者・家族そして全ての県民のために
2. 良き精神科医療は良き社会をつくる
3. こころの時代を支える精神科医療

運営方針

1. 人間の尊厳を尊重し人権に配慮した医療
2. 都道府県立精神科病院の設置義務に基づいた政策医療
3. 客観性と透明性と説明責任を重視した医療
4. 適切な医療技術による良質で安全な医療の提供
5. 社会復帰と社会参加を目指した医療
6. 多職種チーム医療の徹底
7. 障害者にやさしい地域ネットワークづくり

電気治療のご案内

電気治療はどんな治療でしょうか？

頭部に電気刺激を与えることによって、脳内に発作性放電を発生させ、これによって生じる脳内代謝の変化などによって脳機能の回復を図る治療です。

脳内の発作性放電により全身性けいれんが生じますが、当院では、平成14年4月から、麻酔科医の協力の下、麻酔薬と筋弛緩薬を用いた全身性けいれん防止処置を行った上で行う修正型電気治療を行っています。

どんな人に適応がありますか？

- ①精神症状が重症で生命的危機にあるなど、迅速で確実な治療が求められる場合
- ②薬物療法では治療効果が乏しかったり、副作用ばかりがでやすい場合
- ③以前に電気治療で良好な治療反応があった場合

などです。

副作用はありますか？

全身麻酔下で行われる治療の中では安全なもののひとつですが、どんな治療でも副作用はあります。

治療の直後に、頭痛、筋肉痛、一過性の混乱などをみることがありますが、数時間以内に消失します。他は記憶障害が起こることがありますが、数週間で回復することが多いです。

どのように治療を受けるのですか？

治療の説明や検査などを受けた上で、治療は入院して行います。治療を希望されても適応によっては治療ができないこともあります。1週間に1～5回の治療を実施し、病状や改善の程度によりますが、全部で9回程度行うことが多いです。



とびくす

平成28年10月18日に第2回「地域連携交流会」を開催しました。

伊勢崎佐波地域の保健・医療・福祉・行政・教育など様々な分野の48名の方々に参加していただきました。今後も引き続き「顔の見える地域連携」に向けた取り組みをしていきたいと考えています。



芦名医療局長による講演

「いまだから語りたい、精神科救急における『群馬モデル』とは？」



ワークショップ



医療福祉課には精神保健福祉士が10人います。当院は精神科救急医療、医療観察法医療を中心に担っています。私達は、福祉の視点で当事者のニーズを大切に、入り口（受診・入院相談）から出口（退院）そして地域生活へと切れ目ない支援を心がけています。

主な業務

地域医療連携室
（受診、入院相談窓口）

退院支援
社会復帰支援

お気軽に
ご相談下さい

関係機関との
連絡調整等、
病院、当事者
とのパイプ役

社会資源の紹介
及び開拓



当事者、家族と一緒に考え、伴走する役割



チーム医療の中での
コーディネーター役

患者相談窓口

全入院者に、担当精神保健福祉士がついており、いつでも相談に対応できるようところがけています。

医療福祉課は、訪問看護室と同室で、地域支援については、密に情報共有を図っています。

私達は、院内の情報を外に発信し、外の風を積極的に入れる役割をこれからも担っていきたいと思います。
これからもよろしくお願いします。

診察予約について

初診の方は予約制になっています。事前にお電話での予約をお願いします。

- ・受付窓口 地域医療連携室（医療福祉課） 電話0270-62-3311(代)
- ・受付時間 月～金（土日祝日・年末年始を除く） 8:30～17:15

●受診の際にスムーズな治療が行えるように次のことをお尋ねします。

- ・相談者について
お名前、対象者との関係、連絡先（電話番号）
- ・対象者（患者様）について
お名前、性別、生年月日、住所、精神科受診歴、現在の症状、身体合併症の有無
- ・入院希望の場合
患者様本人及びご家族の意向など

●他の医療機関を受診中の方は、紹介状をできるだけお持ちください。

■外来診療 月～金（土日祝日・年末年始を除く） 受付8:30～11:00

外来担当医（平成28年10月11日現在）

	再 来	初 診
月	須藤・両角・清水	平野・武井・赤田
火	武井・赤田・盛林	両角・神谷・三田
水	大森・神谷・森岡	今井・高橋・芦名
木	大森・原田・今井・高橋	盛林・芦名・赤田
金	赤田・芦名・三田・平野	神谷・森岡・清水・今井・須藤



群馬県立精神医療センター

〒379-2221 伊勢崎市国定町2丁目2374

TEL 0270-62-3311

FAX 0270-62-0088

URL <http://www.gunma-seishin.jp>

- JR国定駅から徒歩10分
- 上武国道（国道17号）三和町交差点から車で5分
- 北関東自動車道伊勢崎ICから車で5分